

Land Made SYSTEM
ランドメイドシステム

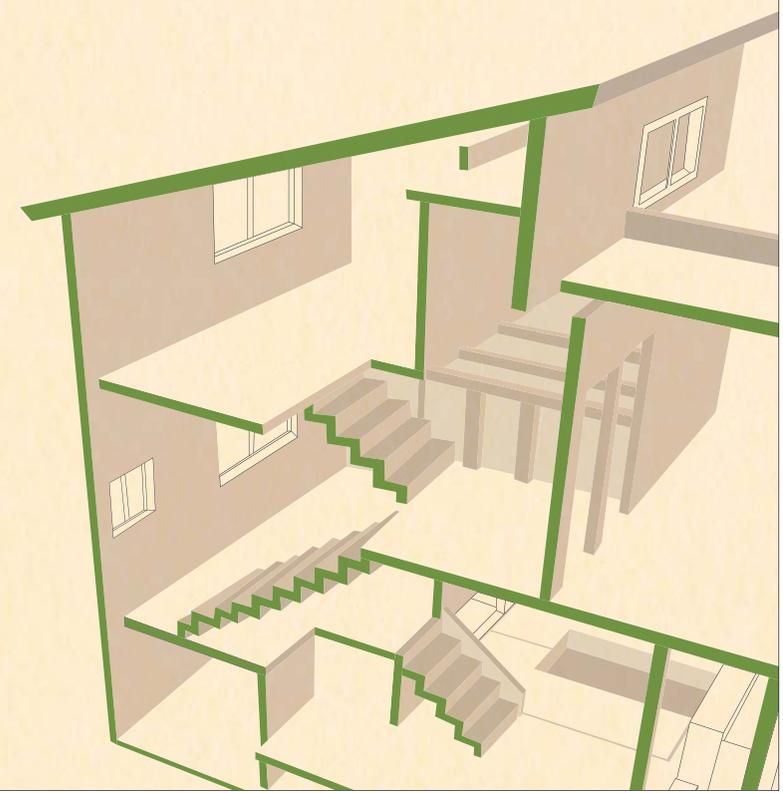
SPA 事務局

株式会社SPA
三重県四日市市安島一丁目7番16号
TEL.059-350-4110 FAX.059-350-4120

ナナメウエのイエ

ひろがる空間の方程式

Land Made SYSTEM
ランドメイドシステム



あたりまえですが、
太陽は私たちの頭の上にあって、
自然がもたらす光は上から差しています。

だから、視線を少し
ナナメウエに向けるだけで、
気持ちがパッと明るくなったり、
希望の光がわいてきたり……。

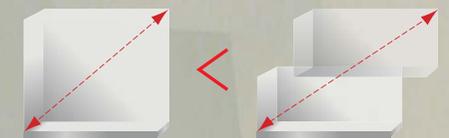
家づくりも同じです。
視点をナナメウエに持っていくと
見えなかったものが見えてきて、
幸せがたくさん訪れます。

そんな家に
暮らしたいと思いませんか？

私たちがおすすめする
新しい家づくり、
Land Made SYSTEM

ナナメ ウエのイエ

Land Made SYSTEMは、
ナナメで着想する家づくりの仕組みです。



ひとつの箱を途中で少しずつすることでナナメの線が長くなります。この仕組みを家づくりに応用したのがLand Made SYSTEMの大きな特徴のひとつ。

箱を家の中の部屋のひとつと考えれば、空間の容量(容積)は変わらないのに、空間の広がりや用途が増すという不思議な現象が起こります。床面積(㎡)からアプローチする従来の家づくりに対して、Land Made SYSTEMでは空間容量(㎡)で家づくりと向きあいます。縦×横という平面的な設計で家を考えるのではなく、そこに『ナナメウエ』を織り込んで立体としての空間から着想する「プランニング」に重点を置いています。

かしこくたてて ひろびろくらす それが「Land Made SYSTEM」です。



夢のマイホームを建てる際に一番気になる建築コスト。

床面積が増えればコストも比例して上がります。

夢は膨らんでも、コストは膨らませたくないというお客様のニーズに応えるのが『ナナメウエ』の着想。

コストを抑えながら、

広々と暮らせる工夫を家づくりに盛り込みます。

Land Made SYSTEMでは、

土地と空間を最大限に活用するプランニングによって、

画期的な住環境を生み出しています。

1 | 採光の極意



室内にいかに光を採り込むか・・・採光は家づくりにおいてとても重要な要素です。ただ単に窓を数多く設置することが答えではありません。建物の立地状況や自然の原理、ガラスの特性も踏まえ、『ナナメウエ』が生み出す効果的な採光をプランニングします。

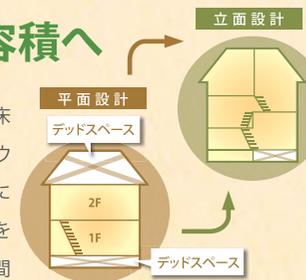
2 | 幸せな風景



室内に風の通り道をつくる設計はもちろん、『ナナメウエ』に焦点を当てることで、限られた空間の中でも開放感あふれる広がりを生み出したり、家族とのコミュニケーションを深めるシーンを演出するなど、付加価値の豊富な暮らしをプランニングします。

3 | 面積から容積へ

住宅の価値をはかる基準に床面積(㎡)がありますが、『ナナメウエ』の着想によるプランニングにおいては空間容積(㎡)に価値を見いだします。立体としての空間構成に終始することで暮らしの利点を生み出し、その強みはあらゆる土地に発揮されます。



4 | 信頼できる設備

キッチン・バス・トイレの水まわりについても『ナナメウエ』志向にこだわっています。空間のゆとり・開放感・効率を踏まえて設備を配置することを前提に、暮らしの質を上げる機能・デザインを追求した結果、すべてパナソニック製でラインナップしています。



南から差す光はもちろん、 北から差す光も上手に採り込みます。

北向きの部屋は暗いという常識は、Land Made SYSTEMには通用しません。隣の家までも「上手く利用」しながら、窓を設置する位置、窓の形状や大きさ、さらにはガラスの種類まで緻密に計算し、南からはもちろん北からも自然光を採り込みます。

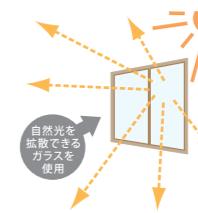
暗くなりがちな北向きの部屋にも、 自然光がたっぷり降り注ぎます。

採光に対する考え方の基本は、北向きの部屋でも自然光だけで新聞が読める明るさを確保すること。冬至日の太陽の位置（南中高度31度）に合わせ、自然光が室内の奥まで届くよう高低差をつけて窓を設置します。光の特性である「反射」にも目をつけ、隣の家の外壁に反射する光を室内に採り込んだり、吹き抜け部分から入る光を白い壁（クロス）に反射させて一層明るくするなど、緻密な計算のもとに採光を工夫しています。



自然光を室内にさらに拡散させるため、 窓のガラス選びにもひと工夫。

光の「反射」に加えて、光の「拡散」にも採光の極意があります。それは、より明るさを確保したい時には『デコボコガラス』を選択するというもの。このガラス（型板ガラス）には視線を遮る効果だけではなく、通常の透明ガラスに比べて表面積が増え、光を拡散させる効果もあります。つまり、より広範囲に自然光を届けることができるのです。高い位置にある窓や北側の窓などには、この『デコボコガラス』を採用することで明るさを確保しています。



家具の配置もちゃんと考えることで、 無駄のない採光を実現します。

「リビングに家具やソファを実際に置いてみたら、窓の半分が隠れてしまって暗くなり、外からの見た目も悪い」というケースが往々にして見かけられます。こんなことがないように、プランニングの段階から家具の配置も考えて設計するのがLand Made SYSTEM。デザイン性や機能性に配慮しながら、無駄のない採光を実現します。



自然の光を
室内に感じる暮らし

家族の

絆が深まる空間マジック



気分的にも風通しの良い空間づくりは、視線を『ナナメウエ』に向けるのがコツ。

効果的な採光により、室内の通風性も比例して高まります。でも、それだけではありません。空間に『ナナメウエ』を持ち込むことで開放感が増し、家族との関わり方やプライバシーにも効果を発揮。縦発想によって限られた空間を活かし切ることで、住み手の気持ちに期待以上の価値で応えます。

対角線の長さで開放感を生み出す空間プランニングが特長です。

たとえば、幅10m・高さ10mの空間において、高さ5mのところを空間を2m横にずらしてみると、対角線の長さが14.1mから15.6mに伸びます。この対角線を人間の視線と考えれば、ずらすことによってより遠くまで見渡せるようになり、空間の広がりが増すこととなります。これが『ナナメウエ』の空間プランニング。同じ広さなのに、より広く感じる空間マジックです。キッチンから、少しフロアが上がったリビングを見上げたり、逆にリビングから、少しフロアが下がったキッチンを見下ろしたり、開放感は格段に違ってきます。



たとえば、キッチンで料理しながらお子さんの勉強する姿が見渡せたり・・・

キッチンから見上げるリビングの一角(キッチン側)に奥行きのある低めのカウンターを設ければ、このカウンターを机代わりに勉強するお子さんの姿を料理しながら見渡せます。キッチンでお母さんがひとりぼっちになることなく、リビングにいる人たちとお互いに顔を見合わせて会話ができるという、些細なことかもしれませんが、毎日の生活を考えれば、家族の絆を深める大切なワンシーン。立体的な空間プランニングによってより良いライフスタイルを演出します。



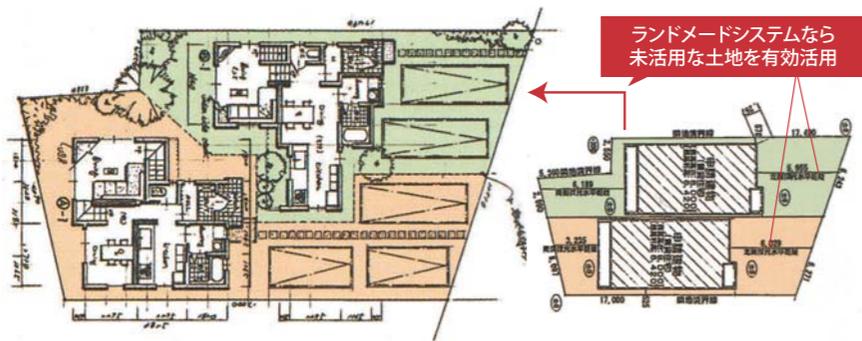
1階なのにバルコニーがあって、しかも、その大きな窓はカーテン無しでもOK。

少しフロアが上がったリビングへのアプローチには、その高低差を活かしてバルコニーも設置できます。大きな窓で通風性が増すことはもちろん、通常の1階の窓に比べて高い位置にあり、しかもバルコニーの壁もあるため、外からの視線をある程度遮ることができます。大きな窓で明るくて風通しが良いのに外からの視線がそれほど気にならず、よってカーテン無しでもOK。空間がすっきりして開放感がさらに増し、家族のプライバシーが守られます。また、2階のバルコニーまで行かなくても1階バルコニーに洗濯物が干せるため、家事の軽減にもつながります。



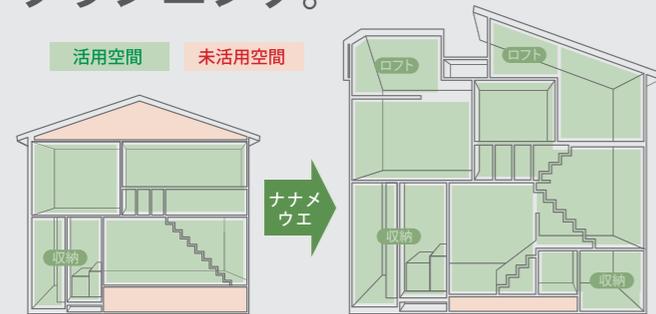
さまざまな土地形状に、Land Made SYSTEMは有効です。

新しく造成された分譲地や区画整理地のような「きれいな形の四角い土地」は決して多くはありません。
都市部になるほど、住宅設計に頭を悩ます土地形状が増える傾向がありますが、そういうケースになるほどプランニング力を発揮するのが、Land Made SYSTEMなのです。



土地を
選ばないプランニング

住宅の空間利用率を高め、土地を隅々まで有効活用するプランニング。



土地を隅々まで有効活用することで、その土地から生み出される利益を最大限に確保。

『ナナメウエ』の着想によるプランニングは建物を真上から見た時にも差が出ます。家の形はキレイな四角形が一般的ですが、Land Made SYSTEMでは凸凹のある多角形が主流。よって、土地の隅々まで有効に活用することができます。一般的に敬遠されがちな土地形状でもLand Made SYSTEMなら柔軟に対応でき、その土地から生み出される利益を最大限に確保します。

一般的に敬遠されがちな土地形状でも、コストを考えれば、むしろ掘り出し物。

土地購入から家づくりを計画する場合、住宅建築にかけられる予算は土地の価格に大きく左右されます。「きれいな形の四角い土地」は希少物件で高価なのに比べ、たとえば狭小地や変形地は物件数が多く、しかも価格がリーズナブル。浮いた予算を建築コストにまわしたり、家具購入にまわすことができるため、Land Made SYSTEMにおいてはまさに掘り出し物なのです。

面積から容積への発想の転換により、土地の制約を受けない空間づくりを確立。

住宅を床面積 (㎡) で考えるのではなく、容積 (㎡) で捉えて空間利用率を高めるのが『ナナメウエ』の着想です。土地の制約を受けない縦発想の空間づくりにより、床下や小屋裏のスペースも活かしながら

コンパクトで機能性の高い空間を追求するため、たとえば、床面積22坪の家で容積は30坪の家を上回る空間を確保。建築コストの抑制にも貢献します。



節水・節電 & 汚れをはじく新素材トイレ。
コンパクト設計で床面積も節約できます。



タンクレストイレを採用することで、ゆとりの動作スペースを確保できます。コンパクトボディなのに太ももが当たる部分を広くして、長時間座っても足がしびれにくい設計になっています。



適材適所

オールパナソニックの設備

バスルームは
人造大理石の
グレード感ある浴槽。

バスルームは先進機能のユニットバスを採用。グレード感があってお手入れも簡単なパナソニックバスルーム「ココチーノSクラス」が標準装備です。有機ガラス系人造大理石の浴槽は汚れをはじき、肌あたりもなめらかです。



キッチン・バス・トイレはすべて、信頼性の高いパナソニック製が標準装備。

Land Made SYSTEMでは、住宅設備を検討する前提として、経年変化に左右されない「ゆとりを生み出すサイズ選定」にこだわっています。そのうえで、特に水まわりについては、快適・便利・安全・安心・省エネなどの機能面においても信頼性の高いパナソニック製を標準装備。より一層洗練された水まわり空間を提供しています。

Kitchen



システムキッチンはいっぱいサイズ。使いやすくて開放的な空間を実現。

システムキッチンは、ゆったりサイズのパナソニックキッチン「リビングステーションSクラス」を採用。日々の使いやすさを重視しています。また、スキップフロア下に収納を確保することで、キッチン吊り戸を排除した開放的なキッチン空間を実現しています。



オール電化でかなえる安心・快適でエコな暮らし。

火を使わないから安心!

清潔で快適!

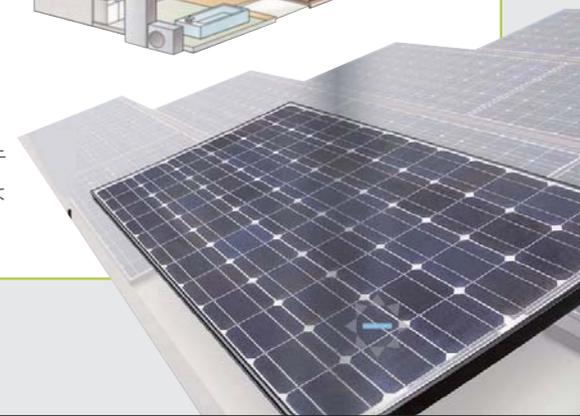
想像以上に経済的!

もっとエネルギーを上手に使えば、ますますおトクで快適な暮らしが実現できるはず。今までのエネルギーを使うだけの生活から、エネルギーを上手に活用する生活を提案します。

昼間の電気代を気にせず「快適」生活

太陽光発電がオール電化の魅力、めいっぱい引き出します。

オール電化契約だと電気代が割高なお昼の時間帯が、太陽光発電システムの発電タイム。CO2も電気代もしっかり減らして、ロジ&エコノミーな「エコ」生活を、太陽光発電システムが支えています。

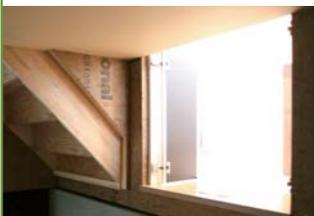


『ナナメ』にすると上も下も使えるため、
収納力が格段にパワーアップします。

「家を小さくつくる」からと言って、
収納スペースを犠牲にしたりはしません。
むしろ、収納力が増すのがLand Made SYSTEMのメリットです。
『ナナメ』の着想によって床下や小屋裏の空間を最大限に活用。
通常の約1.5倍もの収納力を実現します。

収納 約1.5倍の秘密 01

『ナナメウエ』の
リビングの
床下は大型収納!



収納 約1.5倍の秘密 02

『ナナメウエ』の1階バルコニーの
下は外部収納!



収納 約1.5倍の秘密 03

『ナナメウエ』のロフト部分にも
大型収納!



さらには、こんなメリットも・・・

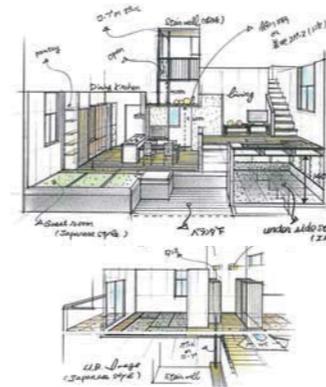
一般的に収納スペースは、「高さ1.4m以下」かつ「各階の床面積の2分の1未満」であれば床面積にカウントされず、
しかも固定資産税の算出対象面積に含まれないというメリットもあります。

※ただし、自治体によっては基準が異なる場合もあるため、詳しくはお尋ねください。

Land Made SYSTEMで
家づくりをはじめましょう。

施工実績のご紹介

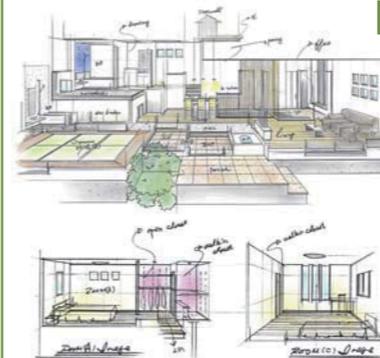
九州地区 M様邸



楽しいがコンセプト。
子供たちがのびのび育つ、
多くの人が集まる空間。

人がたくさん集まるので広く楽しめる空間をプランニングしています。子供たちものびのび育つよう、2Fから1Fへロープで降りるなどの子供の要望も取り入れています。

三重県四日市市 S様邸



生活空間と仕事空間を共存。
生活導線を考え、
移動しやすい空間。

中二階サニタリー・洗面室からすぐ、近隣からは見られないベランダで物干しが出来ます。自営業の方なので、自宅です務務処理が出来る空間も取り入れてプランニングしています。

三重県津市 T様邸



太陽光、土地を考慮することで、
採光の要所を押さえた、
光が満る空間を実現。

南側から光が取り入れにくい土地だったので、二方向に階段を設置するプランニングをしました。その結果、南から十分な光が取り入れられています。

